



ジョブサポート光成 就労継続支援 B型



プラグマティズム 原田 秀樹

哲学思想の1つです。

中途半端な知識で申し訳ないのですが、“経験主義”というか“経験から生まれる真理”について追及する思想と、今のところは理解しています。
経験から生まれるものは認められるべきでしょうし、さらに言えばそれは人生そのものに直結するのかも知れません。



経験なくしては自分の限界も分かりません。何を目標とするかも知り得ません。
彼らの人生を彼ら自身の目線で考えた時、失敗や出来ない事をネガティブなリスクとして捉えるのではなく、まさに失敗こそ人生の資であると認識し、恐れず生きてほしいと強く望むのです。



今すぐ出来る必要性などありません。
時間を掛けてでも挑戦することこそ大切で、彼らはその姿を今月も見せてくれました。



第2サポートセンターつほみ 児童発達支援



江角 静香

未就学クラスの名前が「ふたば」と、決まりました。
そのふたばに、あたらしいお友達を迎え更に賑やかに楽しく過ごしている子供達です。

新しいお友達というのは子ども達にとってとても良い刺激になります。
見本を見せてあげなきゃ、という気持ちになるのでしょうか。小さなかわいい先輩のように支度の姿を見せてくれたり、泣いていたらよしよし、と、頭をなでてくれたり、怪我の痕を見ると心配して「痛い痛い飛んでけ〜」してくれたり・・・微笑ましい姿を沢山見せてくれます。
また、今まで出来なかった事もお互い刺激しあって出来るようになる、なんて事もあります。

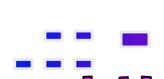
これから沢山の時間を共に過ごす事で、信頼関係なども出来、良いお友達になってくれたらと思います。

沢山お友達が増え、良い刺激をどんどんし合ってくれる事を楽しみにしています。



第2サポートセンターつぼみ 放課後等デイサービス

七夕



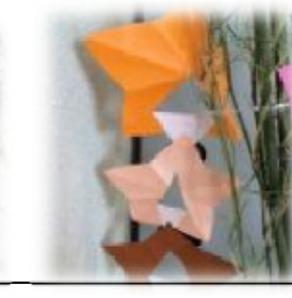
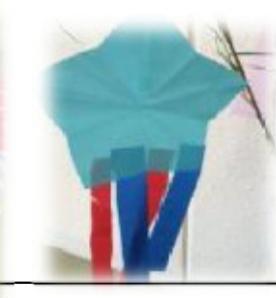
中村 麻理子

7月7日は年に1度の七夕さま。願いを叶えてもらえる日とされています。飾り付けを眺めながら2週間前から少しずつ準備をして来た事が思い出されます。

子供達の声があちらからこちらからと飛び交う中、画用紙や折り紙を使い、星型など形を折って作ったり、ハサミで切れ込みを入れ飾りにしたり、沢山の飾りつけをフロアに施す事が出来ました。

皆一生懸命、でも楽しそうな顔。短冊に書くときなど、「何をお願いしようかなあ?」と考える子「たくさん書いてもいいの!？」と聞いてくる子など笑顔でいっぱいでした。

笹の葉に短冊を吊るす時小さい声で恥ずかしそうに願っている声が聞こえ、私もどうか子供達の願いがお星様に届きますように祈りました。



愛西市の子ども達の様子

信頼関係を築く

支援員 中野 孝子

今年度も引き続き北河田小学校の支援員としてお世話になることになりました。

私の主な担当の支援児は、いわゆる『自閉症スペクトラム』と診断されている1年生の男の子でした。私としては、今までになくよく動き回るタイプの子で、嫌なことを強要されたりすると大きな声で怒って教室から飛び出していました。新学期当初は、1日に何度も本児を追いかけ、一緒に学校中を探検して回りました。学習などは、全く取り組める状態ではありませんでした。

そこで最初に取り組んだことは、決して怒らず、気長に本児に付き合うことにしました。本児の気を引くことで、課題をクリアできることも多くなり、スポンジが水を吸うように、知識や知恵を吸収していききました。

1学期が終わる頃には、チャイムが鳴るとこちらの声かけで席に座り、本児が号令をかけるようになりました。また、課題が終わるまでは席を離れることもなくなり、集中できる時間も5分から15分位まで伸びました。自由時間も作っていますが、終了の号令の時には席に戻ることもできるようになりました。

この成長の一つには、本児、担任、支援員が、お互いに慣れてきたことで、信頼関係ができたこともあると思います。

先日、本児のお母様とお話をする機会があり、「春の時は、学校にいることが不安でいっぱいだったと思います。今では、学校が楽しいと言っています。」と、おっしゃってくださいました。

今後も、子ども達が過ごしやすい環境を作り、今までできなかったことも、少しずつできるようになっていけるよう、担任の先生と協力していきたいとはりきっています。

8月愛西市
小中学校行事予定 8月21日 出校日

光陽ギャラリー

